本会議定例会・一般質問

市議会議員として市長や行政執行に対して考えや政策を質問したり、議員としての政策提言ができたりする「一般質問」という機会が与えられています。

大村学は、以下の通りの一般質問を行いました。なお、次回の平成23年3月定例会では会派（グループ創和：4名）を代表して、「代表質問」をさせていただく予定になっています。

平成19年9月定例会【9月18日（火）】

1 ごみ処理広域化について

＊初質問では、まず「小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化に対してその考え方や進捗状況」について尋ねました。小田原市、箱根町、湯河原町、鶴町の3町でごみ処理広域化を目指しています。同協議会から平成21年6月にその考え方が公表されました。効率的なごみ処理事業は進めるべきですが、設置場所をどこにするのか？などの課題もまだまだ残っています。

広域化と言えば、残念ながら、つい先日の議員説明会で、「広域斎場建設計画」は用地が確保できずに現計画を断念する旨の報告がありました。南足柄市の知人からも厳しい声を受けていまして、今度の代表質問でも取り上げるつもりです。

2 都市計画道路 穴部国府津線の今後の見通しについて

＊この道路の事業従事者は神奈川県です。事業の進捗状況が困難なようなので、それならば周辺の道路整備をしっかり行うように迫りました。もちろん富水5号踏切（図と参照）の拡幅もお願いしましたが、期待できない答弁でした。

平成19年12月定例会【12月18日（月）】

1 小田原駅東口お城通り地区再開発事業の今後について

＊当時はアーバンコーポレーションという民間事業が決まっていて、震災復興は用地が確保できずに現在は見通しが立っていません。この時、私が訴えた「活気をもたらす歩道整備を！」との提案は取り入れられて形で整備が進む見通しです。

一般質問の見応えは自席からの再質問以降です

＊効果を唱えるのに気がいりますが思いきって質問しました。地震災害対策への考え方と街頻度消火器の設置の見直しについて質問しました。

2 地震災害対策について

平成21年6月定例会【6月29日（月）】

1（1）富士見大橋以西の都市計画道路穴部国府津線延伸について

＊粘り強い根気が必要です。本件の質問は3回目です。

2 縦割り行政について

＊縦割り行政による弊害を補うべき提案を行いました。他市の先進事例を調査し行政コンシェルジュの導入事例を唱えました。市長からは総合案内の充実を図りたいとの答弁をいただきました。

平成２１年３月の「富士見大橋」開通により、交通量が増え周辺道路の安全性も変化していることを指摘し、早急な事業促進を唱えました。

3 市民活動について

＊私自身が実践しているボランティアに対する市長の考えや定義について質問しました。『市民活動サポートセンター』への支援が少ないことを指摘しました。施設面、財政面で配慮して活動サポートを。

平成20年6月定例会【6月26日（木）】

1 本市の教育と文化について

＊学習要領が新しく改正（平成23年度施行開始）されることを先取りし、中学校で必修化される武道の大切さと武道のための環境整備の必要性を訴えました。日本剣道連盟が武道館柔道の創始者である嘉納治五郎と小田原の関係をはじめ小田原武道のゆかりがあることを紹介しました。歴史を重んずる小田原は特に武道に力を注ぐべし。と力説しました。

平成20年9月定例会【9月17日（水）】

1 都市計画道路 穴部国府津線について

＊本件2回目の質問。押しも大事と思い1年前とほぼ同様の質問をしました。今回も富水5号踏切拡幅を唱えましたが市道００３９の歩道整備を先に完了させてからとの答弁でした。

富水５号踏切の拡幅は出来そうで出来ません。その理由は他の計画との関係等それでも私を含め複数の議員も訴えている問題です。

2 神奈川県立おだわら諏訪の原公園について

＊地元の不安（進捗状況や雨水処理など）を訴えました。市を通じて神奈川県に対する意見となりました。ローラー滑り台の早期完成を訴えました。

3 小田原駅東口お城通り地区再開発事業について

＊加藤市長がマニフェストを変えたため、市民ホール建設を駅横（駅駐車場から三の丸地区に戻す）、再開発事業の進捗方の考えについて確認させてもらいました。私は最後に『2年後にはマニフェストの検証を』と申し入れを終えました。その後加藤市長は平成22年6月に後援会の方々とマニフェスト進捗評価作業を実施し50％の報告を行いました。

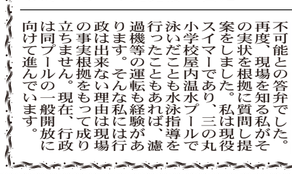
平成20年12月定例会【12月12日（金）】

1 平成21年度小田原市当初予算の編成について

＊厳しい市税収入の減少が見込まれる中、その対応策について質問しました。市長は「事業仕分けなどの手法を考えると答えました。

2 温水プールについて

＊以前に計画されていた室内温水プール建設計画は事実上白紙になった。厳しい財政状況では復活の見込みはない。との見解であったので、三の丸小学校の屋内温水プールの活用を提案しました。このことは私が議員になる前に同様の質問がなされていました。その時は設備的にも室内温度環境的にも不可能との答弁でした。再度、現場を知る私がその実状を根拠に質問提案をしました。私は現役スイマーであり、三の丸小学校屋内温水プールに泳いだことも水泳指導を行ったことも水泳教室の運営等のご転もあれば、濾過機等のご経験があります。そんな私には行政の事実根拠をもって成り立ちません。現在、行政は同プールの一般開放に向けて進めています。



平成21年12月定例会【12月11日（金）】

1 教育長の教育方針について

＊教育長が新しく就任されたので、前田新教育長の教育基本理念を質問しました。学校教育の分野につい生涯学習の分野についても質しました。放課後児童クラブの施設の改善や時間延長についてもお願いしました。新学習指導要領について武道への対応を中心にそれぞれソフトハード面での整備の強化の必要性も唱えました。

2 神奈川県立おだわら諏訪の原公園について

＊全体の進捗状況が良くないことを指摘しながら加藤市長自ら松沢県知事にもっと強く働きかけるべきだと迫りました。特に少なくとも一億円以上かかっているローラー滑り台がお陰で平成22年７月に何とか供用開始にこぎつけることが出来ました。

3 無尽蔵プロジェクトについて

＊この事業には期待を傾けるとともに、無尽蔵プロジェクトの中に「機動戦士ガンダム」（原作者が2年半以上放置されていることを思いっきり指摘しました。

私は「機動戦士ガンダム」の生みの親である、富野由悠季監督の会社まで仲間とお会いしに行きました。著作権等の問題が大きいことと、無尽蔵プロジェクトは既に１０の枠にわかれていて『ガンダム』が入り込める状況は難しいと感じました。

小田原市出身」によるまちおこしを提案しました。

傍聴の感想

この日の一般質問に、大村学の友人が議会傍聴に来てくれてコメントを下さいましたので紹介します。

「私は小田原に住み始めて約28年になりますが、あまり小田原の市政に対して、関心が無く、一度も小田原市議会の定例会議（二般質問）を聴講した事がありませんでした。

市議会選挙にて以前から知り合いであった大村さんが立候補し当選したのを聞きつかけにしました。

ではありますが、市政に対して興味を持つようになり小田原がもっと活気の有る市に発展してもらえたらと思う様になりました。

今回の聴講で尽蔵プロジェクトは非常に良い取り組みではないかと感じました。

地元の特色をどの様な形でアピールしていくか、それは向こう十年先を見たときに継続的に発展していけるのか、いろいろと模索しながら市民の思いを吸い上げる手段等、議論されていました。

今後も市民が暮らしやすい小田原らしい町作りに付いて議論し実現に向けて取り組んで頂ければ思います。」

R.T

その他議員活動を頑張っています

議員は本会議以外にも常任委員会をはじめ様々な会議で質問したり提言したりする機会があります。その件数は本会議より多いです。（傍聴は常任委員会の方が熱い議論が聴けます。具体的でもあります。ですので傍聴は「こちらがお勧めです」）

そして各々の会議以外でも直接各関係部署に行って様々な皆さんの要望等を伝えてきました。

私が取り組んでいた全ての事柄に紹介したいのですが紙面にも限りがありますので、ほんの一部になりますが代表的な成果や取り組みあるいはわかりやすい事例を紹介させていただきます。出来るだけ視覚での紹介をしたいので写真はかなりになります。

（一部、一般質問によって既に取り組んでいる成果とも重複していますが。）

◎小学校の少人数学級化実現

現在、『文部科学省で小1の35人学級を目指しています。小2は教員確保の問題がありますが、『題上見送る』とのことです。既に小1の35人学級化は実現しました。私は更に、早急にそれを小2までに拡大させるべきだと唱えていました。

実はこのことについて小田原市は先進的です。既に小1から小1に充し35人学級を拡充しました。

◎放課後児童クラブの就業時間延長と施設整備の改善

行政としても段階的に同クラブの拡充を図ってきておりますが、私自身の知識と経験とを受けそれぞれのことについて調査し、取り組ませていただきました。思い通りに行かないこともあり、出来ないこともありますが、それらを回答し、ご理解、ご協力をいただくことによって唱えています。平成21年7月からいわゆる開始の8時から8時への繰り上げ実現しました。それから従来から個人的に行っているボランティア活動を活かして施設整備の拡充に協力することが出来ました。

◎たくさんの市民相談や要望に取り組んでまいりました

皆様に様々な相談や要望を受けそれぞれのことについて調査し、取り組ませていただきました。思い通りに行かないこともあり、出来ないこともありますが、それらを回答し、ご理解、ご協力をいただくことによって唱えています。平成21年7月からいわゆる開始の8時から8時への繰り上げ実現しました。それから従来から個人的に行っているボランティア活動を活かして施設整備の拡充に協力することが出来ました。

◎三の丸小学校の屋内プール開放化を提言し取り組み中です

一般質問で紹介したとおりです。

三の丸小学校屋内プールで小田原市内全域の小学生を対象に泳ぎを教えている大村学

◎中学校に学校指導員を配置。施設の改修。

など教育環境に向上には特に強く提唱しています。

平成22年6月定例会【6月28日（月）】

1 小田原こどもの森公園わんぱくらんど、他の駐車場有料化とその後の状況

＊わんぱくらんど等の駐車場が有料化になったことに対して、市民への優遇措置を提案しました。

夏休み期間平日の試行的とはいえ、無料券を広報おだわらに載せてもらえました

平成22年9月定例会【9月15日（水）】

1 長興山の枝垂（市指定天然記念物）の樹勢衰退の懸念について

＊しだれ桜の樹勢が衰えていることを指摘し本格的な樹勢回復を図る必要性があることを唱えました。

初めてパネルを使って登壇しました。視覚で訴えたことは評判が良かったです。

2 都市計画道路穴部国府津線の進捗状況と今後について

＊本件4回目の質問です。ねばり強さが必要だと考えます。連正の穴部区間から小田原駅までは建設業界の新聞の情報を引き合いに進展を確認しました。穴部執行部からは細部に わたる情報収集に驚かれました。

平成22年12月定例会【12月10日（金）】

1 史跡小田原城跡本丸・二の丸植栽管理計画について

＊テレビでも放映され有名な話になってしまった本件について真っ向から向き合いました。小田原城の木が無くなることはありません。私は唱えました。史跡の所管や察にもお願いし続けたのですが、設置に1年半もかかりました。

＊この横断歩道は通学路での事故もあり、その親御さんからも切望されていたので市の所管や察にもお願いし続けたのですが、設置に1年半もかかりました。

2 市民ホール整備について

＊このことは既に同年3月の予算特別委員会でも指摘し、反対討論した内容です。その時、忠告した通り、市民ホール完成は2年延び延びと修正発表をしました。

したビジョンをもって お城のあり方を築き上げるべきと申しました。

＊この歩道の舗装は私が議員に就任した直後からお願いし続け、2年掛かりました

関係者からは2年掛かっても良く実現できたと感心されました。

この道は小田原市の小田急が所有し田原市に、そのの境界査定が終わっていないので無理だと言われていたからです。現在も境界査定は実施されていなく、それを待っていたらあと何年待てばよいかわかりませんでした。

まず、小田原市の持ち分だとはいっきりしていると、その後小田急さんに了解を得て全線舗装が可能となりました。市道の関係所管の管理職員のご尽力はもちろんで

すが、私の元市職員仲間である市道路補修現業職の皆さんのご尽力はとても大きいものでした。

知らないうちに、このような嬉しい看板まで掲げてもらいました。この看板は後日頂戴して私の家にあります。議員活動において壁にぶつかる時がありますが、時々この看板を見て励みにしています。

＊初成果が障害者からの要望でした

議員になりたせていただいて間もなく、わんぱくらんどの大吊橋の供用が開始されました。それに先立ち試験した障がい者団体の方から、段差が大きくて車椅子は通れない。との相談を受けました。

ほんの一部ですが画像で見やすそうな事例を紹介します。改善の申し出に対して下さった市職員の皆さんに心から感謝申し上げます。

公園関係者からも「ベビーカーの利用者もたくさん来園しており、そういう方々からも喜んでいただけるその声も聞きその後の私の活力につながりました！

入でした。更には市職員の迅速な対応にも感激しました。

もともとの段差が大きく、このスロープが精一いっぱいです。介助なしでは利用できませんが、障がい者のみなさん喜びの声が寄せられました。

以上、一般質問の様子はインターネット小田原市議会ホームページで放映されていて、いつでもご覧になりますので是非ご覧になって下さい。（平成２０年６月までは議事録のみ）（近日中に私のホームページから直接リンクさせる予定です。）